

大阪府立中央図書館・大阪府公文書館 共催講座

平成30年6月8日

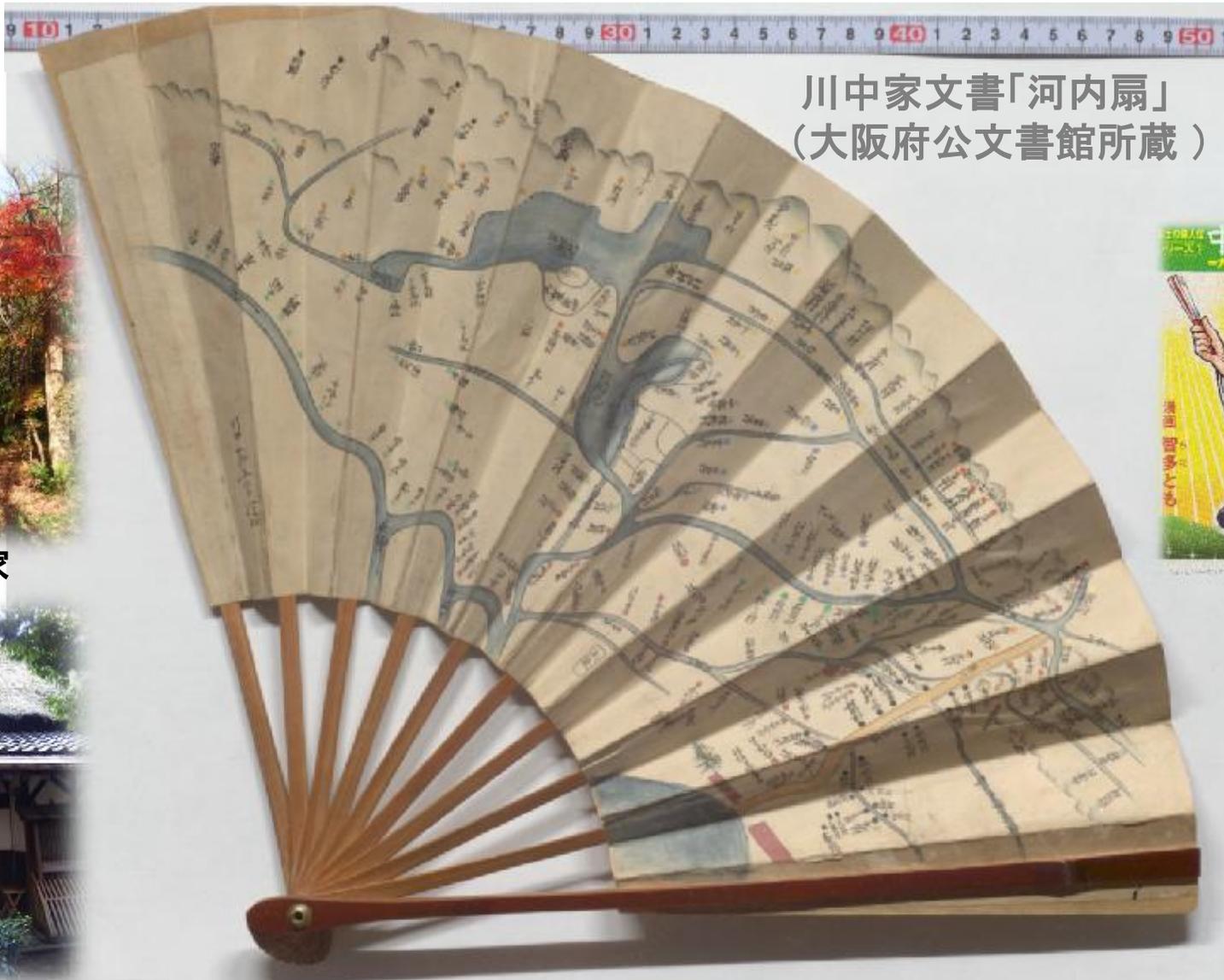
公文書に見る
明治18年 淀川大洪水の頃

大阪府公文書館
専門員 的場 茂

ここは、どこ？



淀川なのに大和川



川中家文書「河内扇」
(大阪府公文書館所蔵)



川中家



淀川大洪水で浸水した村



大阪府管内 明治十八年六月十八日
淀川筋枚方堤破壊二付水害村市取調図
(資料提供: 国土交通省淀川資料館)

被害の規模

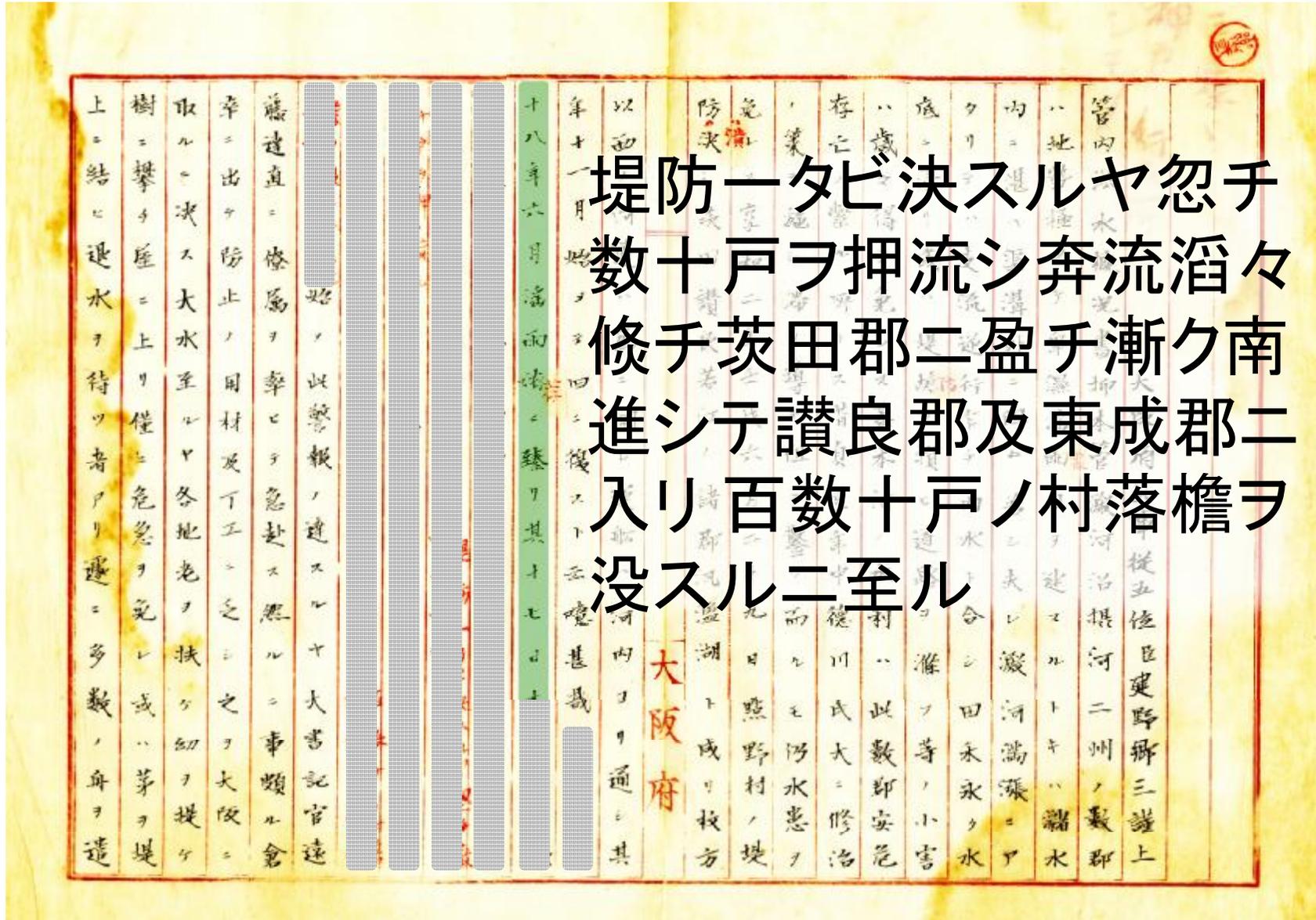
- 「大阪百年史」に記された被害状況

堤防決壊	211
浸水町村	997
流失家屋	26,121
死者	293

(参考) 大阪府を襲った主な災害 (大阪府ホームページより)

	死者数	家屋全壊	家屋半壊	床上浸水	床下浸水
昭和9年 室戸台風	1,812	14,368	15,674	142,910	40,830
昭和25年 ジェーン台風	240	10,625	60,708	54,139	40,025
昭和36年 第二室戸台風	32	3,386	21,356	61,488	59,729

上奏文 ①



上奏文 ②

水愈々暴漲將ニ南寢屋

川堤ヲ衝破セシノ勢アリ
若シ更ニ之ヲ決セハ其災
ノ及ホス所測ルヘカラス
此ヲ以昔享和ノ災野田村
堤防ヲ断テ以テ猛暴ナル
湛水ヲ放注セシ故轍ニ依
リ輒チ臣等僚属ヲ率ヒテ
野田大長寺ニ次シ直ニ截
断ノ工ヲ創メ二十日午後
疏通ノ功成ル

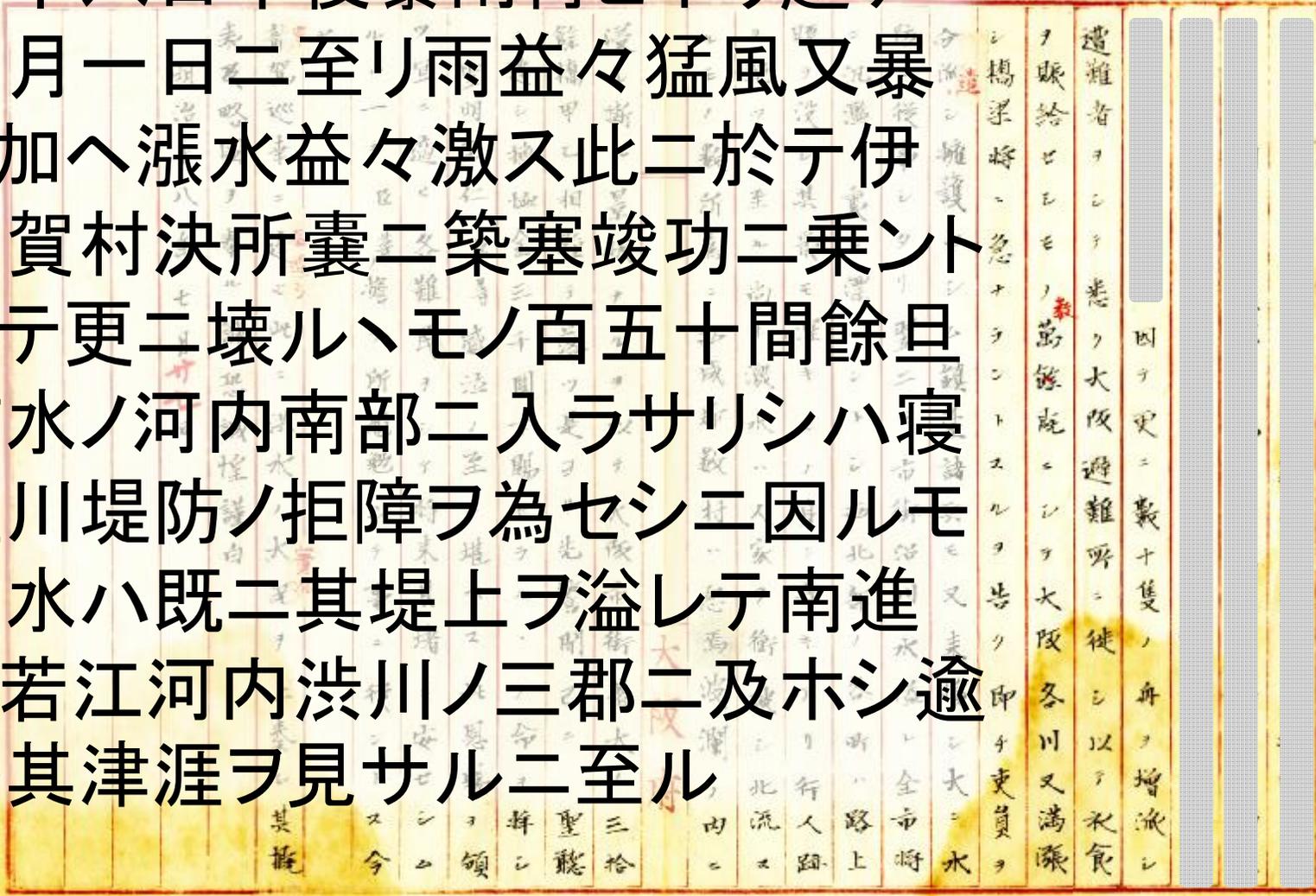
リ程ノ輪シ其難民ヲ救護セシム

野田大長寺ニ次シ直ニ截断ノ工ヲ創メ二十

ツ漸ク減水ノ兆アルヲ報ス二十一日午後暴雨

上奏文 ③

二十八日午後暴雨再ヒ下リ越テ
七月一日ニ至リ雨益々猛風又暴
ヲ加ヘ漲水益々激ス此ニ於テ伊
加賀村決所囊ニ築塞竣功ニ乗ント
シテ更ニ壞ル、モノ百五十間餘旦
前水ノ河内南部ニ入ラサリシハ寢
屋川堤防ノ拒障ヲ為セシニ因ルモ
後水ハ既ニ其堤上ヲ溢レテ南進
シ若江河内澁川ノ三郡ニ及ホシ逾
渺其津涯ヲ見サルニ至ル



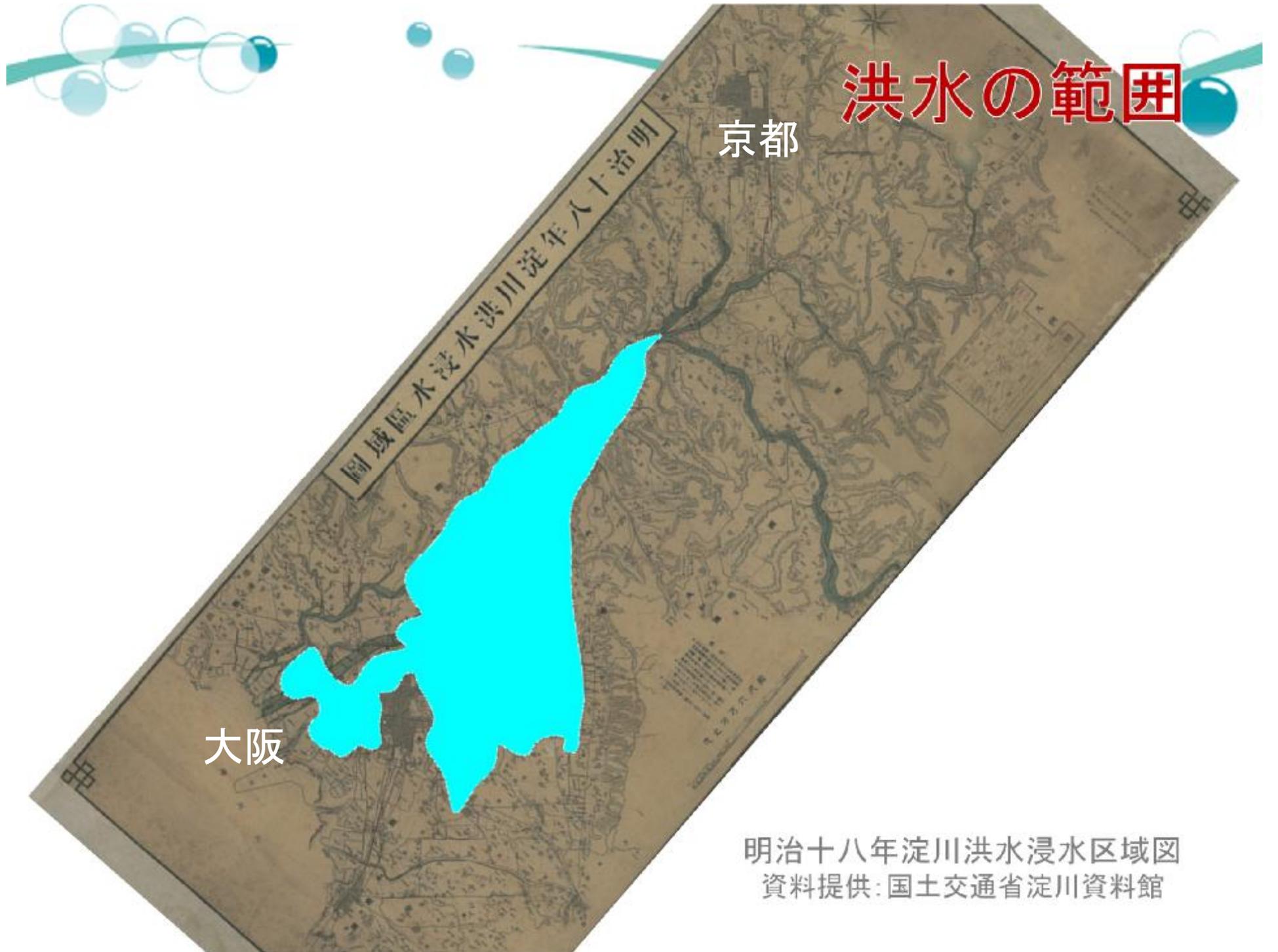
洪水の範囲

京都

大阪

明治十八年淀川洪水浸水区域図

明治十八年淀川洪水浸水区域図
資料提供: 国土交通省淀川資料館

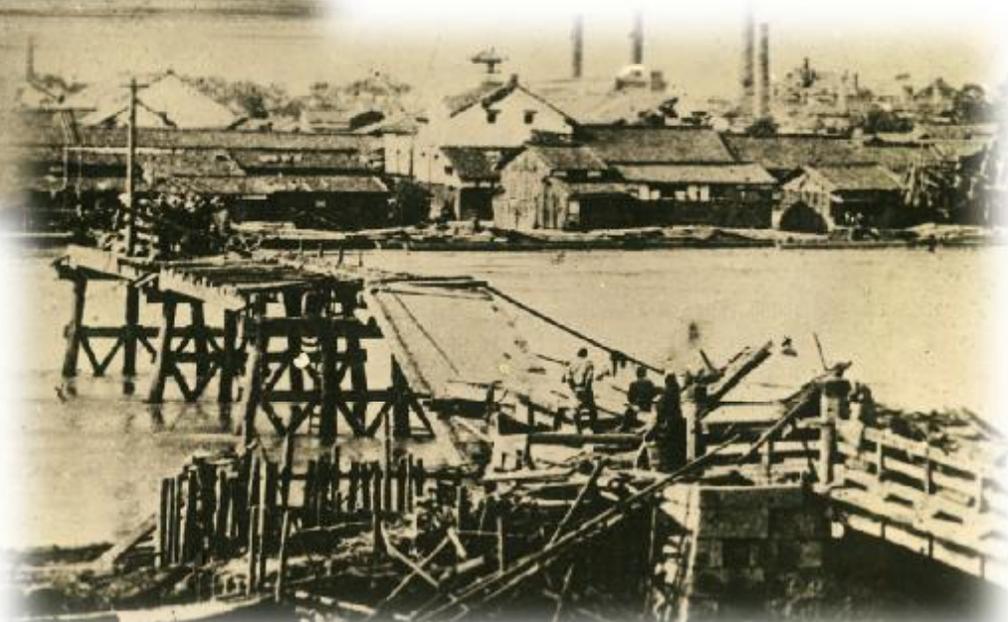


大阪市内の被害

自二日至四日ノ間ニ於テ淀川、土佐堀川、堂島川、安治川、木津川ニ架シタル著大ノ諸橋ハ僅ニ難波橋北部ヲ残シ盡ク相踵テ流出尚東横堀川其他ヲ合セテ市街三十二橋ヲ失ヒタリ

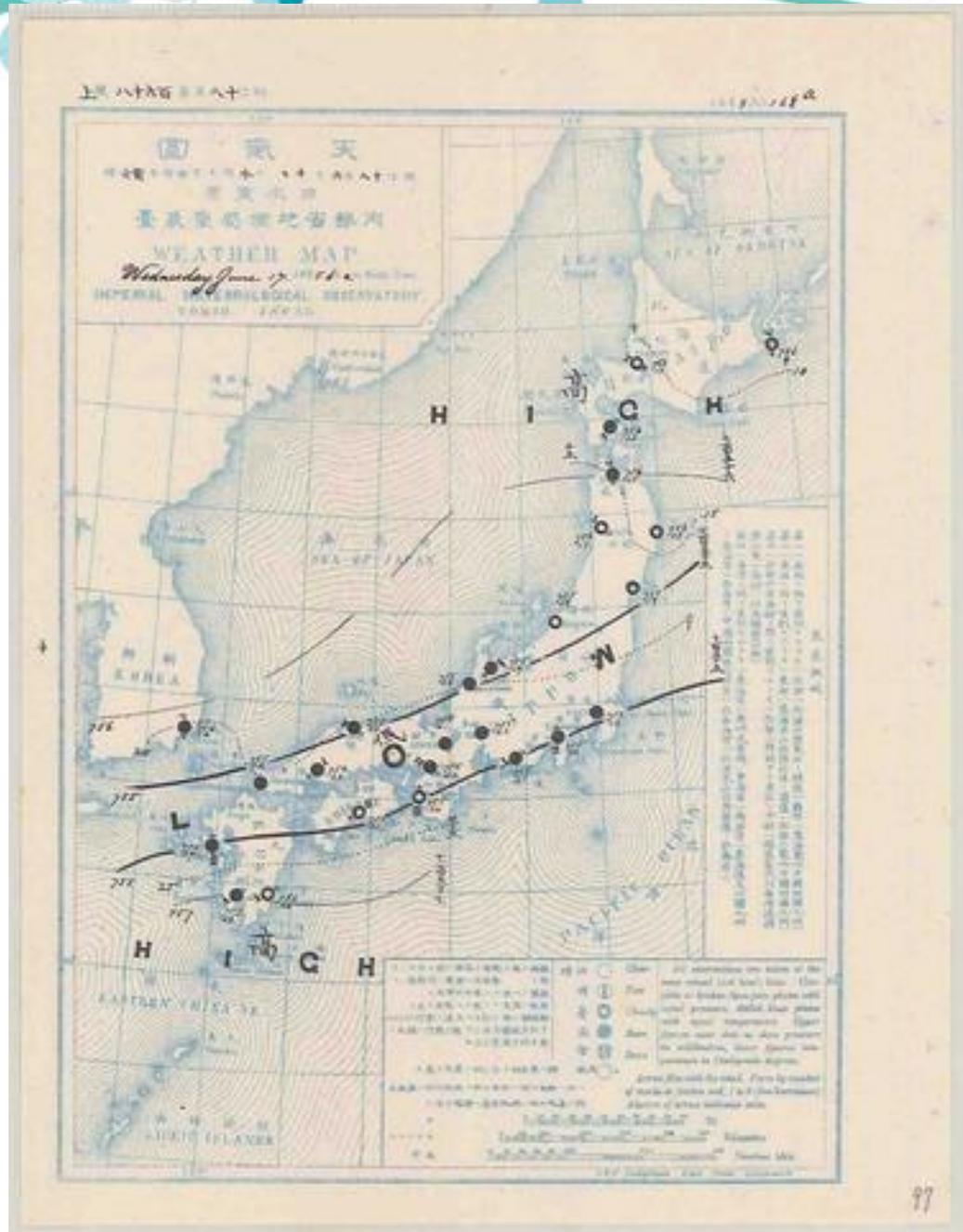
東成郡網島
大長寺裏切口
(わざとぎれ)

流失後の天満橋
(左岸より右岸を望む)



(写真提供：国土交通省 淀川資料館)

当時の天気図



明治18年6月17日の天気図

数日間、活発な梅雨前線

夜間に淀川が決壊

同月中の降水量が嵩む

7月初めに大阪市内の橋が流失

原典：気象庁「天気図」

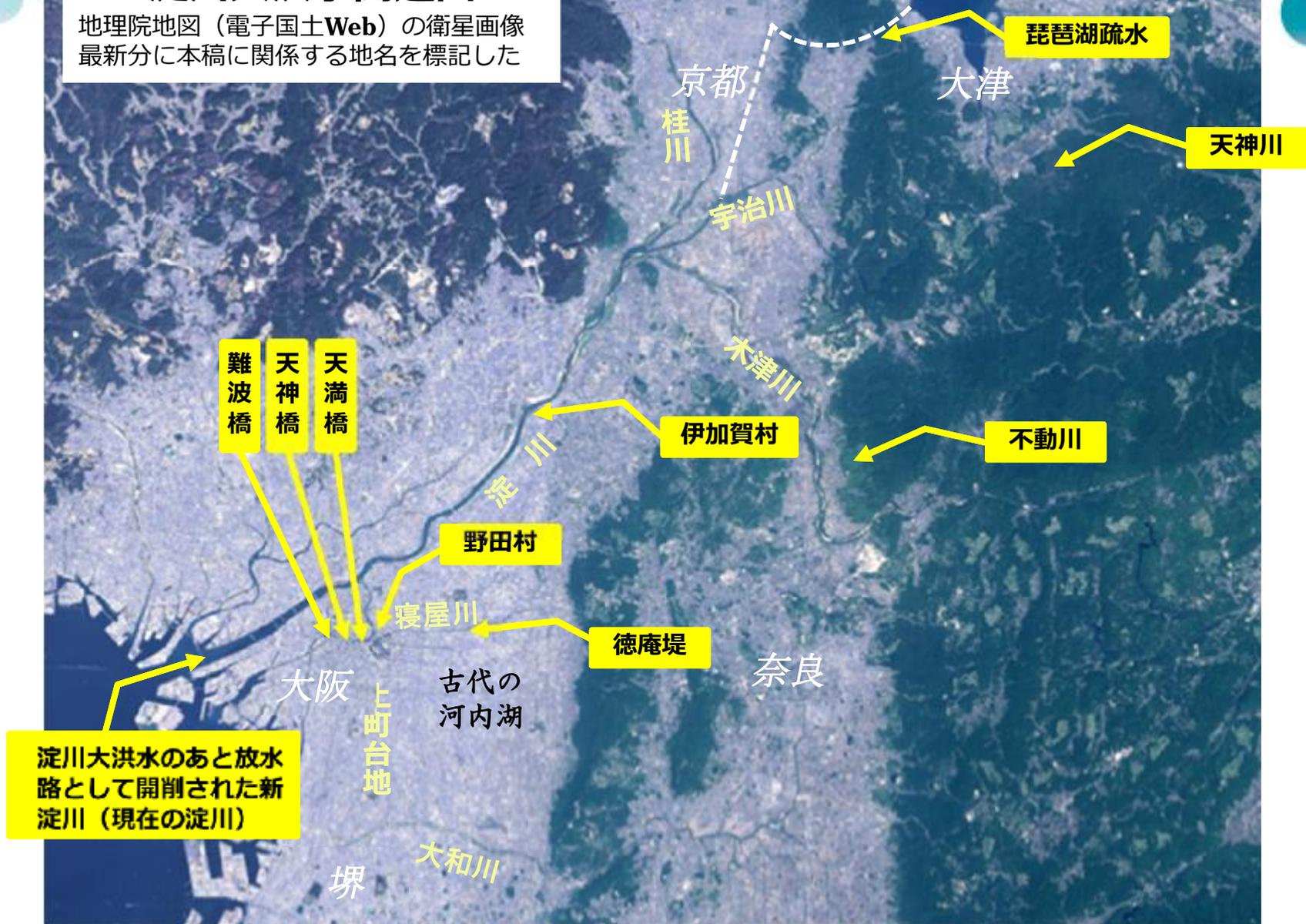
加工：国立情報学研究所「デジタル台風」

<http://agora.ex.nii.ac.jp/digital-typhoon/weather-chart/>

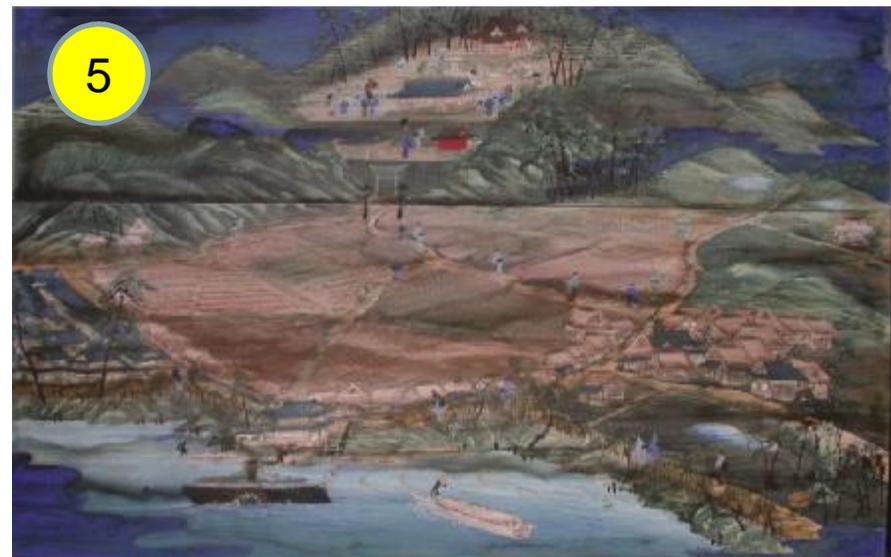
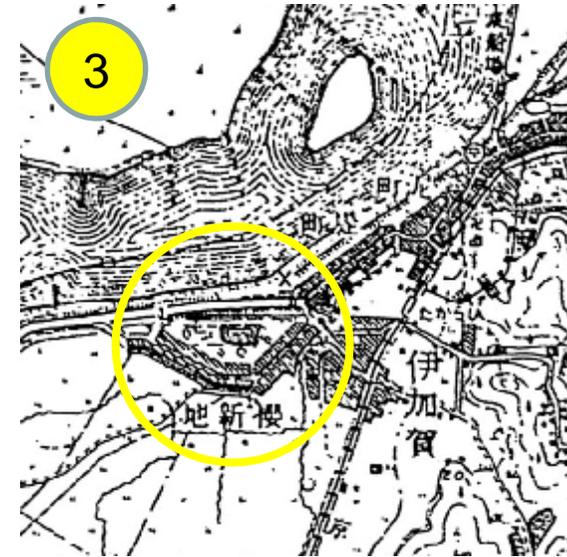
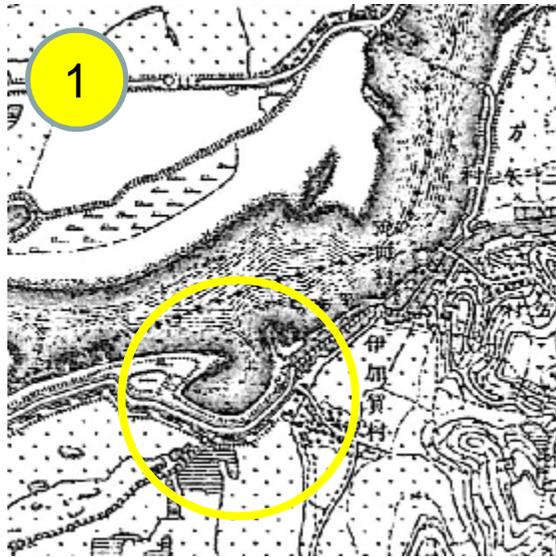
登場する地名

淀川大洪水関連図

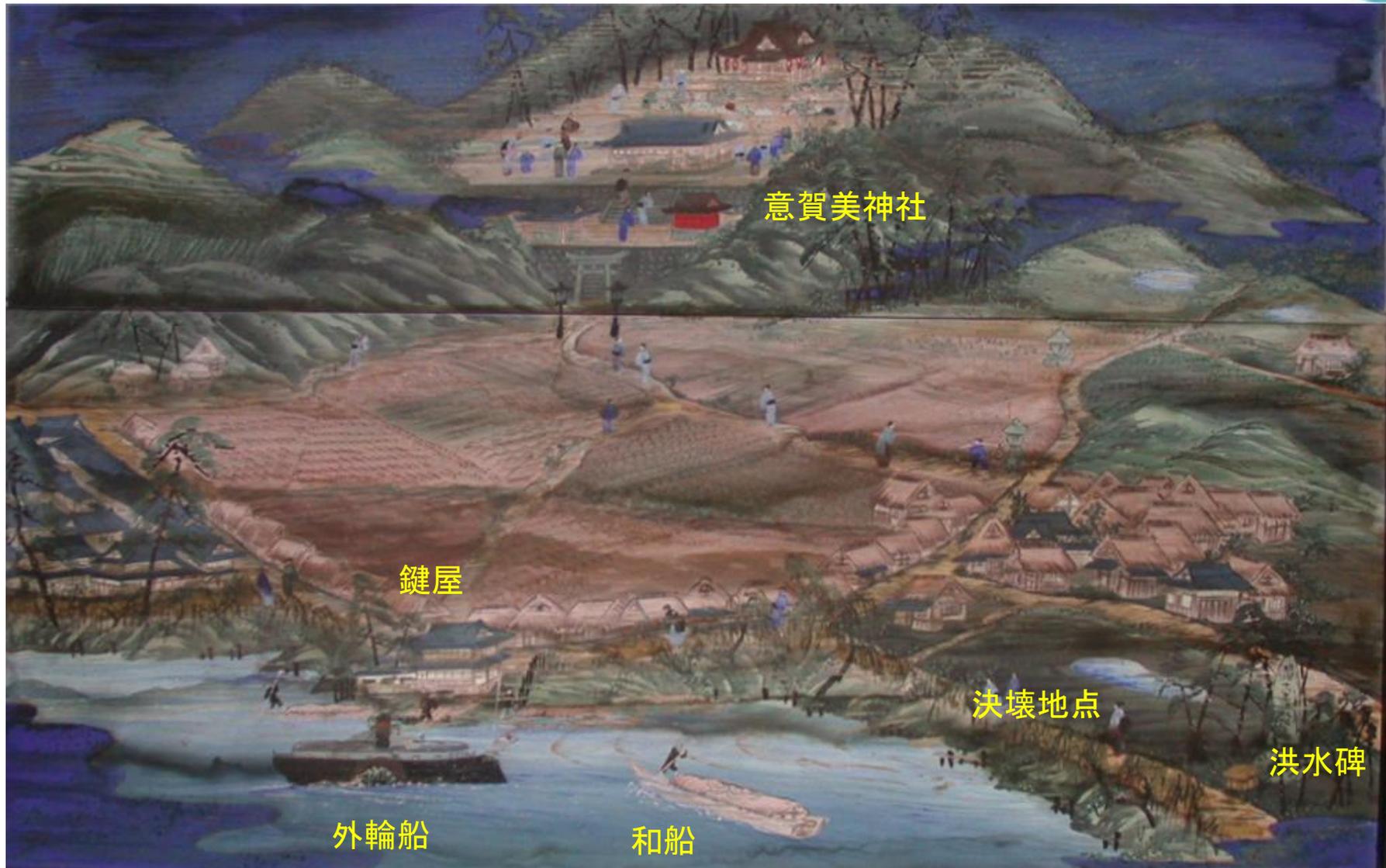
地理院地図（電子国土Web）の衛星画像最新分に本稿に関する地名を標記した



伊加賀村の変遷



洪水後の伊加賀村



意賀美神社奉納絵馬 資料提供: 枚方市教育委員会
(実物は市立枚方宿鍵屋資料館に常設展示)

現地を歩く



当時の社会状況

松方デフレ

西南戦争による戦費調達で生じたインフレ解消が急務
大蔵卿松方正義がデフレ誘導政策を断行
繭の価格や米の価格などの農産物価格の下落
農村の窮乏を招来

激化事件（自由民権運動の過激化）

明治14年	秋田事件
明治15年	福島事件
明治16年	高田事件
明治17年	群馬事件、加波山事件、秩父事件、 飯田事件、名古屋事件
明治18年	大阪事件

庶民の貧窮 ②

畢竟農民ハ數年閒ノ豐饒ニ慣レ漸ク奢侈ニ流レ敢テ備虞ノ念ナカリシノ致ス所其窮民ヲ見ル二十中七八ハ惰民ニシテ平生餘資ヲ存スルノ思念ナキ輩ニ有

今ノ景況ハ右等ノ為人心ニ異變ヲ来シ候様之虞ハ
 毫毛之儀ハ共御聞込ノ如何ニ可有之ト推考シ目下
 景況ヲ具シ一應此段内申候也

尤管下一般目

内務卿、土藏卿、農商務卿、(右通)
 知事
 大阪府

其細
 其細

琵琶湖疏水

第1疏水

総額125万円

明治18年 着工

明治23年 完成

明治24年 蹴上発電所運転開始

蹴上インクライン運転開始

明治28年 京都電気鉄道運転開始

第2疏水

明治41年 着工

明治45年 完成

蹴上浄水場設置



蹴上インクライン
ねじりまんぼ

五代友厚・藤田傳三郎の請願書



請願書 ①

當地ノ商業上ニ
及ボセル禍害モ
亦一ニシテ足ラ
ズ眼前四区内ニ
シテ倉庫ニ蓄積
セル商品ヲ浸サ
レタル價值ハ概
算百万圓以上ニ
シテ

琵琶湖疏水ノ一事ハ他日竣
功ノ上ハ直接ニ当府下水理
上ニ影響ヲ與フベク而カシテ
今般ノ水災ニ於テハ毫モ関
係ヲ有セザルハ言ヲ俟タザル
所ナルモ的面這回ノ水災ニ
遭遇セルニ於テ右疏水ハ果
シテ當府下ニ害ヲ及ボスベキ
ヤ否ヤ將其害ノ深淺如何トノ
講究ヲナシ之ニ處スルノ道ヲ
求ムルハ決シテ忽カセニスベ
カラザルコト

ノ如キ最モ綿密ノ調査ヲ要スルガ故即チ其調査委員ヲ設ケ次後實際障害ノ有無深淺ヲ查出スベキ見込ノ件々ヲ究數ニ本月五日臨時會ニ於テ右委員ノ報告ヲ聽キ更ニ討論審議ヲ盡シ其決議スル所ニ據リテ左ノ條項ヲ請願仕候

抑モ本年我府下水災郡部所在堤防ヲ決潰シ浸水汪洋攝河幾十万亩田面ヲ被フテ死然湖狀ヲ現出シタル慘害ノミナラズ當地ノ商業上ニ及ボセル禍害モ亦一ニシテ

全ク損失ノ歸シタル
水ノ當初ニ於ケル
要セザル用ハ益
竟直接有形ノモノ

請願書 ②

内務省ヨリ派出セラレタル
技師田邊某氏ニ於テハ此
疏水ニ就キ大阪府下ニハ
幾分ノ害ヲ興フベキモ之ヲ
防止スルノ道ヲ盡セバ即
チ其害ヲ免カレ得ベシトノ
見込ナリト云ヒ

理事等ノ學術ハ其通曉セ

ルニ今日琵琶湖疏水ノ之レナキ時ニ於テスラ本年ノ如キ水
災ヲ被レルヲ以テ其疏水ノ竣工スル上ハ前陳ノ如ク從
來瀬田川ノ外更ニ幾分ノ水量ヲ増加スベキニテラズ
又已ニ疏水ノ竣工スル上ハ夫ノ閘門開閉權ノ如キモ
何方一定ノ帰着シテ大水ノ時ニ方リテハ必ラズ相
當ニ節制スルノ道立ツベキ苦ナルモ元々人爲ヲ以テ成
レル閘門タル猶天災ノ之ヲ破綻シテ其効ヲ失ハシモ知
ルベカラズ勿論門ノ下流ニテハ水ノ勢ニテハ必ラズ
大坂府下ノ各郡村ニ在リテハ爲ノ堤防水理工ニ於
テ防害施工ノ經費ヲ止テ其費用ハ京都府ヨリ支弁
大阪商法會議所

請願書 ③

同氏ガ精確ナル測定ヲ
得テ障害ノ有無深淺ニ
係ル疑義ヲ決シ実ニ進
止ヲ定ムルノ外ナシト
思考セリ

ナレバ其障害ノ有無深淺ニ係ル疑義ヲ決シ実ニ進止ヲ定ムルノ外ナシト思考セリ
其不安疑懼ノ念ヲ氷解セシメ
最モ緊要ナル舉行ニシテ管會會議
所ナリ安ニ琵琶湖疏水我府下

内務省御雇蘭國人デ
レーキ氏ハ有名ノ水理
博士ニシテ嘗ツテ淀川
流域ニ係ル御用ヲ担任
シ數年間淀川水理上ニ
從事シ最モ實際ニ明ラ
カナル人ナリ

本國歸省中ナルモ本年内ニハ渡來し再ニ淀川流域
治水御用ヲ担任セラレト聞クヨリ即チ同氏ガ精確
ナル測定ヲ得テ障害ノ有無深淺ニ係ル疑義ヲ決シ實ニ
進止ヲ定ムルノ外ナシト思考セリ故ニ

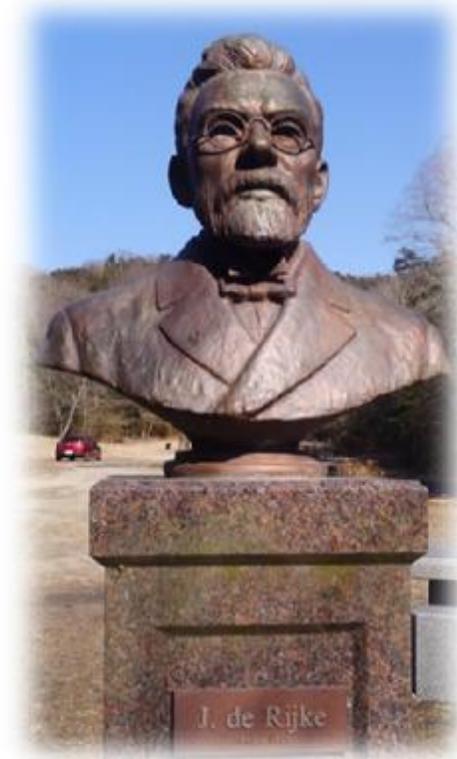
大阪商法會議所

シテ避クハカラザルノ障害アルカ
ス能ハスト雖モ要スルニ當會
思念甚々之ニ安セザルノミ
物ヲ運入スルニ於テ疑懼
害ノ有無ハ暫ク措キ
ク点ノミニ於テ府下商業
慮スル所以ノ道ヲ求ルニ
有名
任シ數
而カシテ目下

蹴上インクライン／田辺朔郎



蘭人、デ・レーケ



他の講座にもお越しく下さい

大阪府立中央図書館・大阪府公文書館共催事業



【絵巻図説】より「本町中門前大坂演舞軒竹居重臣之図」（大阪府立中之島図書館所蔵）

「明治時代と大阪-近代の黎明」

入場無料

平成30年(2018)は、明治元年(1868)から起算して満150年の年にあたります。大阪では、慶応4年(1868)7月15日の大阪湾開港により、欧米の技術や文化が流れ込み、川口居留地を中心とする地域と大阪城を中心とする地域には、「密着外国人」が技術指導を行うなど、我が国の近代化に多大な影響を与えました。やがて国内産業が成熟し、最大級の国内博となる第五回万国動物博覧会が、明治36年(1903)大阪で開催されるに至ります。

今回、基調講演として、橋爪紳也さん(大阪府立大学教授)に「博覧都市大阪-第五回万国博覧会から1970年大阪万博、2025年国際博覧会秋祭まで」と題してお話ししていただきます。また、大阪府公文書館所蔵資料の展示を下記のとおり行います。加えて、6月以降、大阪府公文書館専門員による出張講座も開催予定です。

展示期間 平成30年5月15日(火曜日)から6月10日(日曜日)迄 火曜日-金曜日 9時から19時(土曜日、日曜日、祝日は17時迄)

会場 大阪府立中央図書館1階展示コーナーA・B ※5月21日(月曜日)、28日(月曜日)、6月4日(月曜日)は休館日

基調講演会

「博覧都市大阪 - 第五回万国博覧会から1970年大阪万博、2025年国際博覧会秋祭まで -」

6月9日(土曜日) 14時より15時30分まで

講師  **橋爪 紳也** さん

大阪府立大学研究推進課教授
大阪府立大学観光文化研究センター長

定員80名(申込不要・先着順・受講無料・開場は13時30分より)

大阪府立中央図書館 2階多目的室
(東大阪市荒本北1-2-1)

明治151年でも
明治150年?
とにかく明治時代が
共通テーマです



大阪府公文書館出張講座

- ①「公文書に見る明治18年淀川大洪水の頃」(前半部) (講師:専門員 約増 茂さん) 6月8日(金曜日)
「明治18年洪水以降の琵琶湖・淀川の治水対策」(後半部) (講師:淀川河川事務所管理課 春日一彦さん)
明治18年の洪水に係る維新文庫所蔵の「公文」(代官文庫・御出陣ごとの請願書などの文庫をもとに、この文書の状況と当時の関係者たちがどのように淀川大洪水を扱っていたかを知るとともに、現在に至る淀川治水の歩みにも触れます。
 - ②「『江戸時代』から『明治時代』へ-明治初期の史料をひもとく」(講師:専門員 市原 佳代子さん) 7月13日(金曜日)
大阪市蔵で貴重宝庫などの公表によって国内の情勢が大きく変わっていった一方で、人々の暮らしはどのように変わっていったのか、明治初期に大阪府や堺県が出した布告や、当時の公文書から読み解きます。
 - ③「明治の大阪～『天下の台所』から『東洋のマンチェスター』へ」(講師:専門員 藤原 浩哉さん) 8月14日(火曜日)
明治維新後、日本は西洋文明の技術を積極的に取り入れ、近代化の道を本格的に歩み出した。それが「富国強兵」、「殖産興業」などの政策にも表れていく。その歩む道は激動の時代をおいて、かつて「たけのこ国」を称された大阪はどのようにして「東洋のマンチェスター」へと変貌を遂げていったのか。本講座は、大阪府公文書館の所蔵資料を利用してその歩みを辿ります。
- ◆会場:大阪府立中央図書館2階多目的室 ◆定員:80名(申込不要・先着順・受講無料)
◆時間:14時00分から15時30分まで(開場は13時30分より)

大阪府公文書館

大阪府庁耐震工事の竣工とともに
公文書館は府庁本館5階
正庁の間の隣室に
リニューアルオープンしました

帝塚山の地に生まれてから
30年にわたる歴史を振り返ります

開館時間 9:00～17:15
（土曜・日曜・祝日の観覧
はできません）

大阪府庁本館5階201-22
大阪府庁本館5階 大阪府公文書館
06-6944-8373

帝塚山から大手前へ
大阪府公文書館30周年
平成29年度 企画展示（下期に展示内容入替）



展示室のようす



正庁の間